

試行いろいろ/門……………浮遊する屋根



道の隅切り部を楕円で切り取った屋根

古い村中にある狭小道路の交差点に建つ建築主の希望された鉄筋コンクリート造(RC造)の門の設計実例です。通常RCの門は両脇の門柱に重苦しい屋根が乗っかるデザインが多いですが、今回イメージしたのは、柱・壁から構造的に浮遊する飛び立つ鳥の羽根の様に軽やかなデザインを試みました。将来必要となるかもしれない道路の隅切り部分を避ける目的に、矩計の屋根(庇)から一部楕円で切り取った形です。柱は壁柱として塀と一体にして、屋根を支える部分の厚みを薄く色も少し濃く仕上げ、陰影を作ることで、視覚的な切り離しを見計っていましたが、効果は如何に？



飛び立つ鳥の「羽根」をイメージ



壁柱と屋根の取り合いに「陰影」をつける